

平成二十六年十一月の作品（十一月二十一日（金））

於 文京シビックセンター 5階D会議室

羽搏はばたきの鴨一瞬の碧見あおせて

（一江）

日だまりの路地に一輪返り花

（隆治）

秋天に遊ぶ白雲富士の山

（正雄）

車窓より稲の香入りく小海線

（貴美）

先輩の遺徳を語る秋夕べ

（奉男）

千歳飴手に男の子誇らしげ

（太郎）

秋晴れや訪ねし句碑に虚子の二字

（前歩）

トンネルを抜けて信濃の紅葉かな

（孝昭）

障子貼り庭の景色もあたらしき

（平六）